

長崎大学 多文化社会学部 公開講座 8/1・2

School of Global Humanities
and Social Sciences

受講料
3,000円

2019年度高校生対象の公開講座 (募集人数/長崎県内35名・県外15名程度)

長崎大学多文化社会学部では、外国語・社会科学・人文学から成る多様なカリキュラム、海外留学やフィールドワークなど積極的な学びのプログラムを通して、豊かな人間性を持つ人文社会系グローバル人材を育成します。世界や他者との絆そのものである「ことばの力」、主体的に世界を観察し体験的に情報を得る「調べる力」、調べた材料をもとに理解を深める「知識・考える力」、そして社会へ働きかけ変化を起こす「行動力」を重視しています。

選べる
5つの
コース

国際公共 政策コース

政治学・法学・経済学を中心に、国際社会の多様な政策課題に関して実践的に学びます。専門科目の授業は原則英語で行われ、世界を舞台に活躍する人材を育成します。

社会動態 コース

社会学、文化人類学、歴史学を中心に、アジア、アフリカ、ヨーロッパの社会変容について学びます。フィールドワークなどを通して国際的な実践力を備えた人材を育成します。

共生文化 コース

思想史、宗教学、文化研究、メディア研究、歴史学を中心に、異なる文化を理解するだけではなく、自らの文化も深く理解し、発信できる真のグローバル人材を育成します。

言語 コミュニケーション コース

多文化社会における言語の個性と普遍性、および言語と文化の関わりについて、英語学、日本語学、比較・対照言語学、異文化コミュニケーションを通して学びます。英語教員(高校)の資格取得が可能です。

オランダ特別 コース

オランダに特化した日本で唯一のコースです。オランダを軸にして、西欧についての知識を深めることで、日本を省みる視点を養います。ライデン大学への長期留学が必修です。

〈学びの特徴〉

- 1年次は全員が寮生活。1ユニットを原則、学部生3人と留学生1人がシェアし、日常生活でも多文化の環境に身を置きます。
 - 1年次には全員が短期留学に参加。また、オランダ特別コースの学生は、中長期留学が必修です。他のコースでも留学を強く推奨しています。
 - 1年次は大学入門科目と英語を集中的に学ぶことにより、英語で開講される講義や専門性の高い講義を受講するための基礎力を身に付けます。
 - 学生定員100人に対し教員は34名、さらにティーチング・アシスタントが学生の学びをきめ細かく支援します。他大学ではいまだ実現したことのない手厚い指導を行います。
- ◎ 公開講座を受講することにより、説明会やオープンキャンパスに参加するだけでは分からない、大学での講義の一端に触れてみませんか。

問い合わせ先/多文化社会学部HP

<http://www.hss.nagasaki-u.ac.jp/contact.html>

申込締切/2019年6月26日(水)



国立大学法人
長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

長崎大学 多文化社会学部 公開講座

公開講座の概要

複数の文化的・言語的背景を持った人びとが、共に働き、生活するという状況は、21世紀になって初めて生じたものではなく、人類の歴史の最初期からありました。しかし、グローバル化が急速に展開することによって、人・カネ・モノ・情報の移動がこれまでにないほど大規模になったことで、複数の文化や言語が同じ社会の中で共生する状況は特に珍しいものではなくなりつつあります。長崎大学多文化社会学部は、このような多文化状況において、言語や文化を異にする他者を理解し、問題解決の道筋を提案・実践できる人材を養成します。

この講座では、3タイプの授業によって、多文化社会学部の学びの基礎を学習します。

1	高校生向けに アレンジした学部専門科目	多文化社会学部の各コースを代表する学問的なアプローチによって多文化状況とその意義を学ぶ
2	英語による 異文化間コミュニケーション	英語を通して異文化の特徴を適切に理解し、多文化状況の中で英語を効果的に用いて意見発信を行う方法を学ぶ
3	批判的に読み、論理的に 書くための文章講座	自分とは異なる立場に立つ人びとの主張を理解し、さらには彼らに向けて発信するためのリテラシー（読み・書きの力）の土台を身に付ける

講座日程『多文化を学ぶ、多文化を生きる』 学部教員が高校生の皆さんに 分かりやすく講義します

8月1日(木)		8月2日(金)	
9:00	1時限 海底に眠る歴史の痕跡—水中考古学の世界— 野上 建紀 考古学の世界は海にまで広がっています。人間の活動の痕跡は海底にも残されているからです。海を通した日本と世界のつながりを考えてみたいと思います。	1時限 ことばのしくみと多文化社会 谷川 晋一 本講義では、英語をはじめとするヨーロッパ言語や日本語に焦点を当て、音声、意味、形式の面からその特徴を探りつつ、それがいかに多文化社会の中で捉えられるのかを考えます。	
10:30			
10:40	2時限 メディア論から見た近代社 Abdurrahman Gülbeyaz 本講義では、メディアが何か、そしてどのようにして研究されるかを論じ、メディアと社会、またはメディアと近代人の生活様式の関係について考えます。	2時限 日本とオランダの関係から歴史をみる。 木村 直樹 江戸時代、長崎では、日本とオランダとの交流があり、その関係は、日本の歴史に大きく影響しました。日本とオランダの間にたった人たちに目を向けながら、長崎という土地で歴史を学ぶ意味を考えたいと思います。	
12:10	昼 食	昼 食	
13:10	3時限 流れに逆らって読む 葉柳 和則 本講義では、書き言葉の日本語を用いて、他者に伝える文章＝読み手との対話の構造を持った文章を書くための技法を学びます。	3時限 国際法入門—国際法の世界とその首都オランダ— 東 史彦 本講義では、国際法はどのように生まれたのか、国際法とは何か、国際法と国内法の違い、国際法とオランダとの関係について概説します。	
14:40			
14:50	4時限 The Key to Success in the Modern Age of Globalization Cutrone Pino This lecture aims to expose students to English in the modern global world. It will briefly overview Canada and help students develop strategies for successful first introductions.	4時限 読み手の視点から書く 葉柳 和則 本講義では、書き言葉の日本語を用いて、他者に伝える文章＝読み手との対話の構造を持った文章を書くための技法を学びます。	
16:20			

多文化社会学部への進学希望者だけでなく、
国際系・人文系・社会科学系の学問に興味のある高校生の皆さんの受講をお待ちしています。

受講
申込み

長崎県内の高校生の方は、在籍中の高校にお申し込みください。

長崎県外の高校生の方は、多文化社会学部のHPもしくは
右のQRコードから直接お申し込みください。→

多文化社会学部

検索

<http://www.hss.nagasaki-u.ac.jp>

